学校番号	４１５

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	日本史Ｂ　新訂版（実教出版）						
副教材等	新詳日本史　（浜島書店出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史の事項の単なる暗記に留まることなく資料集や映像を確認することで、より生き生きとした、多角的な視点による歴史像を捉えられるようにします。また、身近なところに息づく地域の歴史も扱います。授業の中で主体的に学ぶ機会を作り、成果をレポート等にまとめもらうこともあります。

２　学習の到達目標

① 日本の歴史の流れと、築き上げられた日本の文化と伝統について理解する。
② 日本の歴史を世界史的視野に立ってとらえ、世界とのかかわりの中で日本の歴史や文化と伝統がつくられたのかを理解をする。
③ 日本の歴史をとらえることで、現在起きている様々な事象を、歴史的な視点で考察する能力を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ：関心・意欲・態度	ｂ：思考・判断・表現	ｃ：資料活用の技能	ｄ：知識・理解
観点の趣旨	日本史における諸事象・諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、日本の伝統と文化を踏まえて国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	歴史上の、あるいは現代社会の諸事象を日本の歴史的背景、伝統と文化、世界との関わりを踏まえて多面的・多角的に考察し、それぞれを尊重する。	日本史に関する諸資料に関心をと持ち、歴史的な視点から読み取ったりまとめる。	日本史における基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業観察 課題プリント レポート	定期考査 課題プリント レポート	定期考査 課題プリント レポート	定期考査 課題プリント レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	日本文化のあけぼの	・日本最古の文化	○	○	○	○	a・旧石器時代と縄文時代の人々の生活や社会、文化が、発掘調査の成果によって明らかにされてきたことや、考古学の方法について関心を持っているか。	授業観察 定期考査 課題プリント

		・縄文時代の社会と文化					ｂｃ・日本の旧石器時代の遺跡が後期旧石器時代に属することや、その時代の遺物、遺構から当時の人々の生活や社会、文化について理解できているか。 ｂｄ・完新世になるころ、土器を伴う新たな文化がはじまったことや、縄文土器や磨製石器などの遺物、竪穴住居、貝塚などの遺構から縄文時代の人々の生活と社会、文化について理解できているか。また土偶の製作や屈葬などの呪術的風習から、縄文時代の人々の精神生活について考えを深められているか。	レポート 小テスト
	水稲農業の開始と社会生活の進展	・弥生時代の社会と文化 ・ヤマト政権の成立・発展と東アジア ・古墳文化の成立と発展 ・大陸文化の摂取	○	○	○	○	a・水稲農業の発達と弥生文化の形成、身分の分化や階級の成立にみられる社会の変化について関心を持ち理解できているか （ａ・ｂ・ｃ・ｄ）・弥生時代に小国や地域的な連合から邪馬台国が形成された過程を、中国の歴史書の記載内容や考古学の発掘成果に関心を持ち理解できているか ・ヤマト政権が西日本を中心とした各地の首長の連合体として形成され、統一国家に向かっていったことと、その政権の特質について理解できているか（ａ・ｄ） ・古墳の出現と各地への広がり、その規模や副葬品に着目し、ヤマト政権の支配や大陸文化の影響について理解できているか（ａ・ｂ・ｄ）	授業観察 定期考査 課題プリント レポート
	東アジア文化の影響と律令制度の成立	・推古朝の政治と飛鳥文化 ・律令国家成立期の政治	○	○	○	○	（ａ・ｂ・ｃ・ｄ）・ヤマト政権の国内統一、律令体制の成立から奈良時代に至る政治の動向、および律令に基づく土地と人々に対する統治の体制が整備されてきたことに関心を持ち、理解できているか	授業観察 定期考査 課題プリント レポート 小テスト
	東アジア文化の影響と律令制度の成立	・律令国家成立期の政治と文化 ・律令体制とその実態	○	○	○	○	（ａ・ｂ・ｃ・ｄ）・東アジア世界との関係と、古墳時代の大陸文化の伝来や、その後の遣隋使・遣唐使などによってもたらされた文物・制度の影響に関心を持ち、着目させ、天平文化などの文化の特色について考えを深められているか。 儒教・仏教や諸制度の摂取、国家による仏教の興隆、造寺・造仏や歴史書・地誌の編纂や国家事業が進められたことなどに着目させ、文化が古代国家の展開と深くかかわりあっていたことを理解できているか	授業観察 定期考査 課題プリント レポート 小テスト

		・天平文化					・記紀や万葉集などの記載や諸資料から、古代人のものの考え方や、背景としての生活について興味関心を持ち、考えを深められているか	
	摂関政治と国風文化	・平安初期の文化 ・摂関政治と地方の動向、国風文化	○	○	○	○	ａｂｃｄ・平安遷都、律令政治の再編成とゆきづまり、地方における支配体制の動揺などから、藤原氏の台頭と摂関政治の展開などに興味関心をもち、理解できているか ・遣唐使の停止や地方の動向に着目し、従来の大陸文化を消化して新しい貴族文化が進展していったことを理解できているか	授業観察 定期考査 課題プリント レポート 小テスト
2学期	中世社会の成立と文化の新気運	・荘園公領制の形成と武士団 ・院政と平氏政権 ・鎌倉幕府の成立 ・武家政治の展開 ・鎌倉武士と農村生活	○	○	○	○	（ａ・ｂ・ｃ・ｄ）・公領の変質や荘園の拡大と武士の台頭などに着目し、荘園公領制の形成と院政の展開、さらに平氏政権の成立などを理解できているか。文化の面で武士や庶民の生活が反映されたことに着目し、古代社会の変化の中に中世社会の萌芽が見られたことに興味関心を持ち、理解できているか。 （ａ・ｂ・ｃ・ｄ）平安時代の末期には都の貴族文化が地方に普及するとともに、説話集や絵巻物に庶民の姿が見え始めたことを理解できているか。 ・公家政権との抗争の中から、鎌倉幕府が独自の武家政権を創出させていったことを理解できているか ・承久の乱を経て公武二元政権から武家単独政権となり、執権政治が確立・進展・変質していったことをとらえられているか ・鎌倉武士の生活と、荘園経済の発達および地頭による荘園侵略の経過を理解できているか。	授業観察 定期考査 課題プリント レポート 小テスト
	中世社会の成立と文化の新気運	・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	○	○	○	○	（ａ・ｂ・ｄ）・貨幣経済の進展や、元寇を契機とした御家人制度の崩壊が進み、悪党らの反社会的な行動も隆盛化して、鎌倉幕府が滅亡していったことを理解できているか ａ・ｂ・ｃ・ｄ公家文化と武家文化とを対比さしながら、鎌倉仏教の学習を通じて鎌倉文化に興味関心をもち、その特質を考えられているか	授業観察 定期考査 課題プリント レポート 小テスト
	武家社会の展開と室町文化	・南北朝の動乱	○	○	○	○	（ａ・ｂ・ｄ）・日本の諸地域の動向に着目し、交通の発達などによって流通経済が進展したことに興味関心を持ち、理解できているか。また、アイヌとの交易や琉球の中継貿易、日明貿易が日本	授業観察 定期考査 課題プリント

		・室町幕府の政治と外交 ・惣村の発展と応仁の乱 ・室町文化 ・戦国大名の領国経営					の貨幣流通に大きな影響を与えたことなど東アジア世界との交流をとらえられているか （a・b・d）・諸産業の発達などを背景に庶民が台頭したこと、応仁の乱後の下剋上の風潮を背景に戦国大名が各地に登場し、領国の経済発展と軍事力強化をはかったことを多面的に考えられているか。 （a・b・c・d）・武家政権の支配の進展や庶民の台頭、東アジア世界との交流に着目し、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽、地方での文化の普及の様相を理解できているか。	レポート 小テスト
	幕藩体制の展開と近世の文化	・ヨーロッパ人の来航 ・織豊政権 ・桃山文化 ・幕藩体制の成立 ・鎖国 ・近世の生活と文化	○	○	○	○	（ａｂｃｄ）ヨーロッパ人の来航と外来文化の受容がそれ以後の日本の歴史に興味関心をもち、果たした役割や意義を考えているか。 （a・b・d）・織田信長・豊臣秀吉の統一過程をとらえるとともに、検地や刀狩等を中心に全国的な支配体制を確立する一方で、朝鮮侵略に至る秀吉の対外政策について理解できているか （a・b・d）・徳川家康から家光に至る治世に確立した幕藩体制と対外関係を構造的にとらえるとともに、大名等の統制のあり方や鎖国制の実態について考えを深められているか （a・b・c・d）・身分制度の実態を把握するとともに、農村や都市などでの自治支配機構の諸相や近世的な文化の創出についてとらえられているか	授業観察 定期考査 課題プリント レポート 小テスト
	幕藩体制の動揺と文化の成熟	・幕府政治の転換	○	○	○	○	（a・b・d）・文治政治的な傾向を強めた幕府政治が展開されるに至った背景をとらえるとともに、商品経済の発展が封建制に及ぼした影響を考え、幕政改革の諸相を理解できているか。	授業観察 定期考査 課題プリント

		・経済の発展 ・学芸の発展と元禄文化 ・幕藩体制の動揺と幕府の改革 ・欧米列強の接近と天保の改革 ・江戸中・後期の文化					・各地の産業の発達と交通網の整備によって、全国的な商品流通経済が確立したことをとらえられているか。・欧米列強のアジア進出とその対応の変化が幕藩体制や対外政策に及ぼした影響について考えを深められているか（a・b・c・d）・江戸の中・後期における町人文化の形成とその諸相、学問・思想の新たな展開に興味関心を持ち、幕藩体制の動揺と近代化へのアプローチについてとらえられているか。	レポート 小テスト
	近代国家と社会の形成	・世界と東アジア ・近代国家の誕生 ・近代社会の形成	○	○	○	○	a欧米諸国のアジア進出、幕末の変動、明治政府の成立と諸改革、自由民権運動と立憲体制の成立、文明開化など、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程を理解している。 b欧米諸国のアジア進出、幕末の変動、明治政府の成立と諸改革、自由民権運動と立憲体制の成立、文明開化など、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 c欧米諸国のアジア進出、幕末の変動、明治政府の成立と諸改革、自由民権運動と立憲体制の成立、文明開化等、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d欧米諸国のアジア進出、幕末の変動、明治政府の成立と諸改革、自由民権運動と立憲体制の成立、文明開化など、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	授業観察 定期考査 課題プリント レポート 小テスト
3学期	二つの戦争と大日本帝国	・日清戦争と日露戦争		○		○	a条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、産業革命の進行、社会問題の発生、教育の普及、都市社会の整備などに着目して、19世紀末か	授業観察 定期考査 課題プリント

							ら 20 世紀初頭にかけての近代史の展開を理解している。 ｂ条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、産業革命の進行、社会問題の発生、教育の普及、都市社会の整備などに着目して、19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての近代史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ｄ条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、産業革命の進行、社会問題の発生、教育の普及、都市社会の整備などに着目して、19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての近代史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	レポート 小テスト
		・帝国形成期の社会	○		○			
	帝国とデモクラシー	・大正デモクラシー ・ヴェルサイユ体制とロシア革命	○ ○	○	○ ○		ａ第一次世界大戦とそれが我が国の経済発展に与えた影響、ワシントン体制の成立と日本の対応、大正デモクラシーのはじまり、日本の植民地の動向など、1910 年代の近代史の展開を理解している。 ｂ第一次世界大戦とそれが我が国の経済発展に与えた影響、ワシントン体制の成立と日本の対応、大正デモクラシーの展開、日本の植民地の動向など、1910 年代の近代史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ｃ第一次世界大戦とそれが我が国の経済発展に与えた影響、ワシントン体制の成立と日本の対応、大正デモクラシーの展開、日本の植民地の動向など、1910 年代の近代史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	授業観察 定期考査 課題プリント レポート 小テスト
	デモクラシーの展開と帝国の変容	・都市化と市民文化	○		○		ａ大正デモクラシーの展開のなかでの社会主義運動や労働運動などの活発化、政党政治の推移、関東大震災の影響、大衆文化の形成と社会の変化、大陸政策の転換、昭和恐慌への対応など、1920 年代の近代史の展開を理解している。	授業観察 定期考査 課題プリント レポート 小テスト

		・東アジアの 情勢と恐慌			○	○	ｃ大正デモクラシーの展開のなかでの社会主義運動や労働運動などの活発化、政党政治の推移、関東大震災の影響、大衆文化の形成と社会の変化、大陸政策の転換、昭和恐慌への対応など、1920年代の近代史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 ｄ大正デモクラシーの展開のなかでの社会主義運動や労働運動などの活発化、政党政治の推移、関東大震災の影響、大衆文化の形成と社会の変化、大陸政策の転換、昭和恐慌への対応など、1920年代の近代史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	
	アジアの戦争と第二次世界大戦	・日中15年戦争 ・アジア太平洋戦争		○ ○	○	○	ｂ満州事変、昭和恐慌後の社会と国家主義思想の台頭、日中戦争の長期化と総動員体制の構築、アジア太平洋戦争の展開と戦時下の社会、植民地の動向など、満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開を理解している。 ｃ満州事変、昭和恐慌後の社会と国家主義思想の台頭、日中戦争の長期化と総動員体制の構築、アジア太平洋戦争の展開と戦時下の社会、植民地の動向など、満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ｄ満州事変、昭和恐慌後の社会と国家主義思想の台頭、日中戦争の長期化と総動員体制の構築、アジア太平洋戦争の展開と戦時下の社会、植民地の動向など、満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	授業観察 定期考査 課題プリント レポート 小テスト
	現代日本の源流	・戦後世界と日本		○	○		ａ国際連合の成立と冷戦の開始、アメリカによる占領政策と諸改革、日本国憲法の制定、朝鮮戦争、日本の独立回復と沖縄、平和運動の展開、50年代の社会と文化など、50 年代までの戦後史の展開を理解している。	授業観察 定期考査 課題プリント レポート 小テスト

		・冷戦と日米安保体制	○		○		b国際連合の成立と冷戦の開始、アメリカによる占領政策と諸改革、日本国憲法の制定、朝鮮戦争、日本の独立回復と沖縄、平和運動の展開、50年代の社会と文化など、50 年代までの戦後史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c国際連合の成立と冷戦の開始、アメリカによる占領政策と諸改革、日本国憲法の制定、朝鮮戦争、日本の独立回復と沖縄、平和運動の展開、50年代の社会と文化など、50 年代までの戦後史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	
	冷戦のなかの経済成長	・高度経済成長下の日本 ・経済大国	○	○	○	○	a日韓基本条約の締結と意義、ヴェトナム戦争、沖縄返還と日中国交正常化、高度経済成長と生活の変化、公害の発生、住民運動と革新自治体、石油危機を経た経済大国化と日米同盟、家族のかたちや働き方の変化など、80 年代までの戦後史の展開を理解している。 b日韓基本条約の締結と意義、ヴェトナム戦争、沖縄返還と日中国交正常化、高度経済成長と生活の変化、公害の発生、住民運動と革新自治体、石油危機を経た経済大国化と日米同盟、家族のかたちや働き方の変化など、80 年代までの戦後史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 c日韓基本条約の締結と意義、ヴェトナム戦争、沖縄返還と日中国交正常化、高度経済成長と生活の変化、公害の発生、住民運動と革新自治体、石油危機を経た経済大国化と日米同盟、家族のかたちや働き方の変化など、80 年代までの戦後史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d日韓基本条約の締結と意義、ヴェトナム戦争、沖縄返還と日中国交正常化、高度経済成長と生活の変化、公害の発生、住民運動と革新自治体、石油危機を経た経済大国化と日米同盟，家族のかたちや働き方の変化など、80 年代までの戦後史の	授業観察 定期考査 課題プリント レポート 小テスト

							展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	
	現代の日本	・転換した世界のしくみ ・現代日本の課題	○	○ ○	○	○	a 冷戦体制と 55 年体制の終焉、経済のグローバル化の進展、そして 21 世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向を理解させる。 b 冷戦体制と 55 年体制の終焉、経済のグローバル化の進展、そして 21 世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 c 冷戦体制と 55 年体制の終焉、経済のグローバル化の進展、そして 21 世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 d 冷戦体制と 55 年体制の終焉、経済のグローバル化の進展、そして 21 世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	授業観察 定期考査 課題プリント レポート 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。